

令和2年度 小熊小学校 第3回 学校運営協議会（紙面会議）

令和3年1月29日（金）

議題

- 1 これまでの活動報告（教頭）別紙
- 2 保護者アンケートの結果について（教頭）別紙
- 3 小熊小学校の働き方改革（教頭）別紙
- 4 決算報告（教頭）別紙
- 5 学校評価について（教頭）
別紙にご記入の上、FAXまたはお電話でお知らせください。
- 6 令和3年度へ向けた学校経営方針について（校長）
- 7 意見交流
- 8 その他
 - ・来年度の委員継続について、継続の方向でよろしいでしょうか。役員交代がありましたら、お知らせください。

小熊小学校の働き方改革 2020 取り組みの報告

1 残業時間管理 管理対象 12 人 4～5 月は臨時休業

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平均 残業 時間	32:25	17:37	41:15	43:19	15:20	46:38	49:21	36:45	39:01
残業 45 時間 未満 [人]	9	12	8	8	12	4	3	9	9
残業 45～80 時間 [人]	3		4	4		8*	9*	3	3

* 9 月と*10 月は、前期成績処理に時間を要した。

2 残業時間を減らす工夫

- (1) 毎週水曜日を「ノー残業デー」、8 のつく日を「家庭へ早く帰る日」とし、午後 6 時を最終退校時刻として早く帰る日を設定している。教職員は意識していて、おおむね達成できている。
- (2) 退勤時刻を午後 7 時に統一し、それまでに退校するようにしている。午後 7 時を過ぎる場合は、事前に業務内容と終了予定時刻を管理職に申告している。その結果、午後 7 時終了の意識が高まり、時間を意識した勤務につながっている。
- (3) 勤務時間の終了は午後 4 時 45 分であることから、この時刻を意識した会議の設定をしている。勤務時間後には会議を設定しないことを徹底した結果、長時間の会議は解消された。
- (4) 留守番電話を午後 6 時から翌朝午前 7 時 30 分まで設定することにより、時間外の保護者対応が大幅に減った。
- (5) 管理職から毎日、「10 分早帰り運動」を実践している。教職員一人ひとりに声をかけ、早く帰るように促している。早く帰る意識が高まった。
- (6) 年次休暇の取得推進を心掛け、休みやすい雰囲気をつくる。計画年休として、年間 5 日間の年次休暇が取得できるように、夏休み前や冬休み前に声をかけている。令和 2 年 1 月～12 月まで全員が年休 5 日間を取得した。

3 次年度の取り組みの方向

- ・ 残業月 45 時間を超える職員を限りなく 0 人に近づける。
- ・ 働きやすい職場環境づくりをさらに進める。
- ・ 計画的な年休の取得（年間 5 日間）をさらに進める。